

平成24年新春セミナー・賀詞交歓会

本年1月31日に、新春セミナー並びに賀詞交歓会がメルパーク東京で開催されました。

新春セミナー

会長 野崎正和より挨拶

昨年は東北の大震災・大津波・台風の襲来と日本列島は大変な被害に遭いましたが、東日本大震災の時には、会員皆様より義援金活動にご協力いただきましてありがとうございます。被災された方々は大変厳しい状況の中、寒さと雪で毎日の生活が大変だと思います、改めて御見舞い申し上げます。

我々専門工事業協会の会員皆様も、東日本大震災の復興工事支援に行かれています方が沢山いらっしゃると思います。コンクリートから人への話が以前ありましたが、今回の震災で一番早く復興に駆け付けたのが建設業界です。更に高放射線量箇所での作業を行っている人達も建設業界です。今年は東北の復興を含め、日本全体の復活を行わなくては行けない時期に来ていると思います。にもかかわらず、政治不安定で方針が決まらないのが実情です。早急の方針を決めて総理大臣には命がけで行って頂きたいと思います。

午前中の国土交通省の勢田氏・中村氏との意見交換会では、価格の問題、コンクリートの配合の問題、登録基幹技能者の活用、安全面では肌落ち災害防止を設計に是非取り入れて頂きたいと要望し、ある程度理解を頂きましたが、今後も国土交通省、厚生労働省、高速道路会社3社に対し、今まで以上に働きかけを行うつもりです。そして、当協会では、一つの会社でできない事に対して、協会としてこれまでも増して積極的に取り組んでいきたいと思っています。



行政講演：「建設産業の再生と発展のための方策2011」

講師：国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課 専門工事業高度化推進官 松下雄介氏

1. 建設産業の再生と発展のための方策2011

- ・地域維持型の契約方式の導入
- ・保険未加入企業の排除
- ・技術者データベースの整備と業種区分の点検
- ・公共調達市場と受発注者関係
- ・海外建設市場への積極的進出

2. 中央建設業審議会・社会資本整備審議会

基本問題小委員会 中間とりまとめ (案)

- ・地域維持型契約方式の導入
- ・技術者データベースの新たな仕組みの概要
- ・業種区分の見直しの方針
- ・社会保険未加入問題への対策
- ・登録基幹技能者の活用について



協会より：まさに我々専門工事業にとって喫緊のテーマであり、その中で「入札契約制度改革の推進」や「適切な下請企業の技術力評価」、「登録基幹技能者の活用」など有効な具体策等にも言及して頂き、会員会社の経営改善に役立つセミナーでした。

賀詞交歓会

現場の第一線の技術者が優秀でなければなりません、それには現場の第一線で働く人たちが生活しやすく、若者が希望を持って会社へ入社出来る仕組みが必要です。「生活ができる」・「希望が持てる」仕事にするには「価格・単価」を是非とも見直して頂きたいと思います。また、技術面・安全面では人命が一番です。現場で命を預かる事業主としては、働く人達が安全に仕事出来る環境を作って頂きたいと思います。



《 来賓の方々より 》

国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課長 榎本健太郎 様



昨年は「建設産業の再生と発展のための方策2011」を策定しましたが、行政・業界・現場の三位一体による取り組みが必要なので、皆様のご協力をお願いします。

(財)建設業振興基金理事長 内田俊一 様



昨年のトンネル見学会からトンネル専門協の大ファンになっております。

直接、労働者を雇用し技術労働者育成(資格)に取り組んでいく、そのような専門業界の活動を行政が本腰を入れて支えて行く、そして関係団体はそのためのお手伝いする。そうすれば日本の建設業界の再生につながる方向が見えて来ると思っております。

(社)日本建設業連合会常務執行役 谷田海孝男 様



日建連は昨年4月に合併し、まだまだ新入社員ですがよろしくお願ひします。発注者との意見交換会、秋のじん肺パトロールを行って頂き、ありがとうございました。

全国から参集された会員の皆様には、互いに新年の挨拶を交わし合い、交流を深めて頂きました。



国交省との意見交換会



新春セミナー開催前に行われた理事・監事会の開催時に、国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課課長補佐 中村希様より、目下、国土交通省が優先事項に上げている「社会保険未加入企業対策」について講演して頂きました。

引き続き、国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長 勢田昌功様をお招きし、中村希様の両名と、協会理事・監事会メンバーとによる意見交換会が行われました。

本会では、「登録トンネル基幹技能者の評価・活用」「落札率向上(95%程度)のための入札制度改善」「肌落ち労働災害防止のための鏡吹付けコンクリートの積算組入れ」等、協会における喫緊の要望事項4項目を申し入れ、熱心な意見交換が行われ、相互理解と関係強化の促進が図られました。

現場見学研修会

平成23年10月14日から15日にかけて、「現場見学研修会」が福島県福島市の東北中央自動車道栗子トンネル(福島側)工事で開催されました。参加者は66名(33社)でした。(財)建設業振興基金の内田俊一理事長と枝川眞弓研究部長も参加していただきました。



現場見学研修会に先立ち、野崎会長他は福島県庁を訪問し、遠藤光一土木部次長を表敬訪問し、東日本大震災の復興への協力を申し出ると共に、協会が人材確保策として力を入れている登録トンネル基幹技能者の活用などをお願いしました。



《工事概要》

発注者：国土交通省東北地方整備局、元 請：清水・大豊JV
施工：石田土木㈱
概要：総延長が8972m(うち福島側は5146m)、今回工事は2340m
工期：平成21年8月～平成25年3月



《施工環境》

- ① 完成すると東北地方では最も長い道路トンネルとなり、国内でも5番目の長大道路トンネルとなる。
- ② 豪雪地帯である福島・山形両県の県境に位置し、坑口部の標高も約400mと高く、厳しい気象条件下での施工である。
- ③ 岩質は比較的硬質であるものの、顕著な断層破碎帯が数箇所確認されており、地質の変化部での岩塊の抜け落ちが予想され、土破りが大きい区間では山はねの可能性がある。
- ④ 本坑の上り線側に位置する避難坑(既施)坑口からは、大量の湧水が流出しており、本坑施工時も湧水が懸念される。



意見交換会で野崎会長より「国交省の直轄でこれほど大規模なトンネル工事は少なく、興味があった。見学で気が付いた問題点などを出し合い、それを自社の技術向上に役立ててほしい」との話がありました。

その後、石田土木㈱の佐藤学所長より「工事の特徴としては、覆工コンクリート養生時間を39時間確保することでコンクリートの品質向上を提案しており、また、工程を確保するために2基のセントルを使用している点。3日に2回の打設で月進160メートル確保している。掘削はいろいろ工夫し、順調な進捗となっている。なお、ずり出しは連続ベルトコンベヤーを使用している。」との工事の特徴や使用機械、設備などに関する説明がありました。また、説明後に活発な質疑応答が行われました。

トンネル施工機械現場管理要員研修会

平成23年度第1回トンネル施工機械現場管理要員研修会

平成23年10月22日から23日にかけて、山梨県北都留郡の松姫トンネル小菅工区建設工事にて開催されました。受講者は15名でした。

目的：適正な機械管理を行い、機械トラブルによる生産性低下の防止、安全確保、コストアップの防止を図ること

1日目は施工主要機種の見学及び建設機械の故障・トラブル、安全等に関する座学研修が行われました。

2日目は会員会社(北新建設㈱)が施工中の工事現場において、トンネル施工機械を前に機械管理の基本と実践を研修が行われました。



(コンクリート吹付け機研修)



(大型ブレーカ研修)



(坑口集合写真)

平成23年度第2回トンネル施工機械現場管理要員研修会

平成24年2月14日に東京都中央区の浜離宮建設プラザにて開催されました。受講者は19名でした。



今回は、主要トンネル施工機械3機種(ドリルジャンボ、ホイールローダ、大型ブレーカ)についてのトラブル対応の説明と、受講者と講師とで、日頃の悩みや問題点等をディスカッション形式で意見交換も行なわれました。

ネクスコ3社(旧 日本道路公団)との意見交換会

(社)日本機械土工協会、トンネル専門協及びP C工事業協会の3協会とネクスコ3社との意見交換会を開催いたしました。平成23年12月15日に名古屋市でネクスコ中日本、大阪市でネクスコ西日本と、平成23年12月26日に東京都千代田区でネクスコ東日本と意見交換会が行われ、次の要望事項に対し、一定の理解を示して頂きました。尚、今後も、本会を継続的に年2回程度開催する事で合意を得ております。

《要望内容》

1. 労災事故防止のための鏡等吹付コンクリートの設計・積算について
2. 人材の確保育成のための登録基幹技能者の適正評価と活用について
3. WTO案件発注への要望
4. 価格評価基準（最低制限価格）の引き上げについて
5. 適正な単価での発注について
6. 適正な追加・変更契約の締結について

登録トンネル基幹技能者講習 合格者

平成23年度第2回登録トンネル基幹技能者特例講習(平成23年10月30日、東京会場)

修了証番号	所属組織名	氏名
第11100353	北新建設(株)	中村 浩

平成23年度第2回登録トンネル基幹技能者講習(平成23年11月8日～11日、東日本会場)

修了証番号	所属組織名	氏名
第11110354	川元建設(株)	斎藤 寿幸
第11110355	木部建設(株)	三鹿 明弘
第11110356	木部建設(株)	新山 貢
第11110357	成豊建設(株)	下公 康弘
第11110358	成豊建設(株)	本間 隆司
第11110359	成豊建設(株)	馬内 実

修了証番号	所属組織名	氏名
第11110360	西豊工業(株)	山邊 浩一
第11110361	(株)巽組	山本 喬
第11110362	北新建設(株)	渡辺 成三
第11110363	北新建設(株)	鈴木 正史
第11110364	吉岡建設(株)	児島 圭吾
第11110365	吉田直土木(株)	宮原 大介

平成23年度第3回登録トンネル基幹技能者講習(平成24年2月7日～10日、西日本会場)

修了証番号	所属組織名	氏名
第12020366	川元建設(株)	高島 公彦
第12020367	木部建設(株)	中原 克巳
第12020368	九藤建設(株)	田中 憲吾
第12020369	(株)興和建設	川井田 信也
第12020370	(株)児玉組	山口 博文
第12020371	(株)児玉組	那須 良二
第12020372	成豊建設(株)	山畑 仁史

修了証番号	所属組織名	氏名
第12020373	成豊建設(株)	森 裕司
第12020374	拓進建設(株)	坂部 敬三
第12020375	拓進建設(株)	坂田 慎司
第12020376	(株)原工業	今野 善浩
第12020377	北新建設(株)	上澤 孝浩
第12020378	吉田直土木(株)	笹岡 洋志
第12020379	吉田直土木(株)	山下 昭仁

会員動向(平成24年1月～)

- 入会 (有)アシストプラン 代表取締役 中島康典(コピー機他レンタル)
柴田運送(株) 代表取締役社長 柴田征治(一般区域貨物運送事業、建設工事用機械賃貸業)

事務局便り

- NTS会報27号をお届けします。今回は1月31日の新春セミナー・賀詞交歓会、同日 理事会時における国土交通省との意見交換会、10月14日～15日の現場見学研修会、10月・2月の現場機械管理要員研修会、12月のネクスコ3社との意見交換会、10月の第2回特例講習会、11月・2月の第2回・第3回登録トンネル基幹技能者講習会を取り上げ記事といたしました。

○ 行事予定

- ・第5回定時社員総会 平成24年5月18日(金)
- ・秋季セミナー 平成24年9月18日(火)
- ・登録トンネル基幹技能者講習 平成24年度第1回(東日本会場)：平成24年 7月17日(火)～ 7月20日(金)
平成24年度第2回(西日本会場)：平成24年11月13日(火)～11月16日(金)
平成24年度第3回(東日本会場)：平成25年 2月12日(火)～ 2月15日(金)



この会報に対するご意見・ご感想、又ご入会に関する詳しいお問合せは下記の事務局までお願いします。



一般社団法人 Association of Nihon Tunnel Construction Sub-contractors
日本トンネル専門工事業協会

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-1 ブロードリー西新橋9階

TEL:03-5251-4150 FAX:03-3591-3550 URL : <http://www.tunnel.jp>